

繪本唱歌の編纂に就て

日本教育音楽協會會長 乘 杉 嘉 壽

一昨年春、本會會長の職について以來、教育音楽の發展改良については、出來得るだけの力を注ぎ度いと思ひ、先づ小學校の音楽教育の方に考を向けたのであつた。小學校の唱歌教材としての現行の文部省編纂、尋常小學校唱歌は、編纂以來既に二十年以上も経過して居り、その間、一度も改良が加へられて居ないので、實際教授に當る人達は、他の教課、もしくは教材の進歩に比べて、非常に取り残されて居たので、自然、他の正しくない教材がそこに侵入して來るおそれあり否、大體そういふかはしき教材によつて、吾が唱歌の教授が亂されて居る様な事もあつた様のわけで、尤も急を要するのは尋常小學校の唱歌の材料を改め度い云ふ事であつた。で、この考でしばしば文部當局を訪れ、種々かけあつたのであるが、いろ／＼の事情上、そう急に出來さうもない事をたしかめたので、非常に微力な會ではあるが、之が自分の會長就任の上にと與へられた第一の、そして最初の使命なる事を思ひ、あらゆる困難を戰つても、その企てを實現しやうと決心したのである。

而してその計畫を實施するについては、先づ歌詞の新作もせねばならず、もこより作曲は凡て新にする云ふ事が、必要であるが、就中この歌詞を新にする云ふ事は容易でないのであるが、廣く現代の有名な作家達からお願をしよう云ふ事を企て、之に著手して見たのである。扱て、歌詞は集つて來る、したがつて、その採否なり、當否なりを審査して行く中に氣付いた事は、自分が考へて居た學年にあてはめるよりも、むしろ之は低い學年か、高い學年かの何れかにあてはめ

の方が適切な様のもも出て来るし、又作曲に於ても同様の事が生じて来て、一つの歌を作り上げるのに、いくつかの作歌ミ、作曲を數部作り代へるミ云ふ必要に迫られたのである。初め全學年を通じて各學年十五曲ミし、合計九十曲を作ればいゝ筈であつたのに、以上の様なわけで百二十も、百三十も作らねばならぬミ云ふはめに陥つて、想像以上の困難に出會つたのである。

併し、この仕事分段々緒について來た際に頭に浮んで來たのは、小學以前の幼兒に對する唱歌の問題であつた。申すまでもなく、音樂教育は出来るだけ早く始めるのが有効であつて、殊に、幼兒及び小學校低學年に於ては、この教課の重要さは他の教課に比べて勝ることも劣るものではない。即ち、教育上、最も重要な地位に立つものであるから、その教材の選擇については最も慎重であり、適切でなければならぬミ思ふたのである、それで小學校ミ同一の方法で、幼稚園に對する教材の編纂をもくろんだのであるが、扱て著手して見れば困難は更に倍加して來たわけであつて、この仕事を始めて以來、毎年の春には、作歌、作曲の勞銀を拂ふことにも追はれて、既に數千圓の借財もなり、おしまひには誰も貸して呉れぬので、自分の金まで持ち出してしまつた様のわけである。それも非常に些少なお禮であるので、あまり威張つてもお願出來ないミ云ふ始末である。之が政府の事業ミなれば、少くも數千、數萬の巨財を要するわけであるが、吾が教育音樂協會役員の、犠牲的な奉仕によつて尋常小學唱歌の編纂の見込はついたが、幼稚園の分は非常に必要ではあるが、物質的な事情からして、絶望の所まで立ち至つたものであるから、最初は、しばらく時期の來るまで見合せの餘儀なきに至つたのである。併し同志の者は、何れも教育者であるので、折角のこの仕事を教育的に、又有意義にするミ云ふ事は、吾等の理想であり、念願であるから、むしろこの際、更にその犠牲を重ねて、一擧にして幼稚園の部も編纂し終らう、ミ云ふ話合が出来、既に春夏秋冬の四編のものは全く完成して、先づ最初に時期の關係上、春の部を刊行したのである。

過去二ヶ年のこの勞苦を顧みて、之に關係せる數十名の作歌、作曲者、並びに其の審査及び事務に關係せる人達の勞苦の容易ならざるを思ひて、うたゝ感慨に堪えざる次第である。元來この幼児、又は少年少女の教育に就ては、この音樂教育が重要視されない事は、頗る遺憾な事で、現に尋常小學第四學年までの兒童には譜を見せぬ事になつて居る。音樂の先進國たるドイツを、この數ヶ月前に見て來て、今現に吾等が編纂した繪本唱歌と同じ様なもの、即ち、歌詞並びに、曲譜の一本に納めたるものを、ドイツでは、立派に幼児に讀ませて居るのである。小學校の兒童に至つては、讀譜の出來ぬ様なものは一人もない有様で、教育の立前から見て、非常に吾國の音樂教育なるものは時代後れのものであると云ふ事を痛感したのである。で圖らずも今回自分達が計畫した事柄が丁度之等先進國で既に實行して居る事を見てより、之が直ちに吾が國に於ても實行する様な氣運になつた事を非常に喜ぶものである。吾等が過去二ヶ年間の勞苦は、甚だ貧弱なものではあるが幼児教育に關係せらるゝ各位の熱心なるお力添へによつて、廣く御利用願ひ、その教育の上に、大なる効果をあげらるゝならば、本協會の満足之に過ぐるものなく、吾々は各位の誠意に對して深く感謝するに同時に、更に進んで吾が教育音樂の改良と進展のために、更に々々、力を注ぐ事をお誓ひしたいと思ふ。(文責在記者)

以上のお話にございます様ないきさつを経て、昨年春、漸く具體的な準備にさりかかりました。先づ役員を、音樂家、童謡作家、幼稚園實際家、體育家等、幼児に關係深い人々の中より定め、先づ幼稚園唱歌編纂に關しての方案を立てたのでございました。それからはこの方案に従つて、著々その目的に進んだのであります。私共は全國に澤山の隠れたる童謡詩人のある事を信じ、そういふ方々の寄稿を期待して、切の日を待つて居りましたのに、意外にも應募歌詞は極めて少數で、ミてもお話にならないのでございます。で、之はまだこの募集の事が全國幼稚園に行き互ららないのかミ

思つて、再募集をしたのでございましたが、^メ切の日になつても以前にして、應募者が少く、全く落膽してしまつた様の有様で、少数集まつた歌詞にもなか／＼適當なものが得られず、殆んど原形を失ふまでに訂正したのであります。こんなわけで、最初もくろんだ二作歌、作曲は汎く小學校教員及び幼稚園保姆等より募集することに云ふ事は見込が立たなくなつたわけでございます。でその後は専ら、童謡作家として適當な方にお願をして歌詞を得たのでございました。こうして歌詞を得たものは云へ、幼児に適當と思はれるものが少く、かなりの訂正を加へたのでございました。扱て作曲云ふ段に至りましては、實に困難其極に達したことも申すべく、一歌詞について、少くも五六人の適當な作曲家に作曲をお願いした始末で、その集つたものを役員一同で協議審査訂正をして漸く一曲を定めるに云ふ有様で、全四十曲の歌曲の撰定にはこんな出来榮えではございますが、名狀も出来ぬ苦心を續けたのでございました。

全歌曲四十を便宜上、各々十曲づゝ春夏秋冬の四季に分ちました。

春の卷

- | | | | |
|---------|-----------|----------|---------|
| 一、テフテフ | 八、オヤツ | 五、アサガホ | 二、ダルマサン |
| 二、タンポポ | 九、オニゴツコ | 六、カミナリサマ | 三、ウサギ |
| 三、ママゴト | 一〇、ジドウシヤ | 七、ミヅアソビ | 四、オツキサマ |
| 四、エンソク | 夏の卷 | 八、スナアソビ | 五、カケツコ |
| 五、コヒノボリ | 一、テンノウヘイカ | 九、オウマ | 六、オヤスマ |
| 六、アカチャン | 二、オヒサマ | 一〇、ナミ | 七、ブランコ |
| 七、マリナゲ | 三、チューリップ | 秋の卷 | 八、オミヤゲ |
| | 四、キンギヨ | 一、ヒヨコ | 九、ナハトビ |

一〇、タンジヨウビ

一一、ユキ

五、マママキ

八、ツミキ

冬の巻

三、オカアサマ

六、ギツコンバツタン

九、オヒナサマ

一、オシヤウグワツ

四、ピアノ

七、オサル

一〇、ユメ

尙ほ御参考までに、幼稚園唱歌編纂に關する方案、を記載いたします。

幼稚園唱歌編纂ニ關スル方案

幼稚園唱歌集ヲ編纂スルニ當リ次ノ要項ヲ參考トスルコト。

一、一般的標準

- 1、歌曲ハ兒童ノ持テル音樂ノ創作的受容的能力ヲ進歩發展セシメ得ルモノタルベキコト。
- 2、曲譜ハ兒童ノ遊戯ト作業、律動的運動及ビ唱歌ノ結合ヲ圓滑ナラシムルモノナルヲ要ス。
- 3、歌詞ハ特ニ兒童ノ談話ソノモノヲ用ヒ、其ノ發音ヲ淳化セシムルモノタルヲ要ス。
- 4、歌詞歌曲共ニソノ内容、形式ニ於テ多種多樣ニ涉リ、兒童ノ内の生活ヲ美化セシムルモノナルヲ要ス。

二、曲譜ノ標準

- 1、曲譜ハ低學年ノ程度ノヤ、低キモノタルベキコト。
- 2、特ニ「リズム」ヲ明瞭ナラシムベキコト。
- 3、遊戯ト作業ト律動的運動ニ適合スルモノタルベキコト。
- 4、兒童ノ歌ヒ易キモノタルベキコト。

5、長調ヲ本體トスルコト。

6、拍子ハ二拍子、三拍子、四拍子ノ三ツヲ用フルコト。

7、音域ハ尋常一年生ノ音域ヨリモ一層狭キモノタルベキコト。

8、調子、音程ハ隨意タルベキコト。

9、曲想ハ輕快、優美、或ハ活潑ナルモノタルベキコト。

三、歌詞ノ標準

1、歌詞ハ尋常一年ノ唱歌ノ程度ヲ參酌シ長キニ失セザルコト。

2、兒童ノ日常使用スル言語ヲ本體トシ、其ノ發音ヲ美化セシメ得ベキモノタルベキコト。

3、歌詞ノ題材ハ兒童ノ生活ニ屬スルモノニシテ、コレヲ美的ナラシムルニ適當ナルモノタルベキコト。

四、其他

1、作歌作曲ハ汎ク小學校教員及ビ幼稚園保母等ヨリ募集スルコト。

2、遊戯用曲ハ全ク唱歌曲ト區別スルコト。

3、幼稚園唱歌ノ取捨選擇、及ビソノ取扱方ハ教授者ノ自由ニ任せ得ル様注意セラレタキコト。

4、教材ノ取扱ニ就イテハ、聽音練習、リズム的運動、遊戯、兒童歌、兒童遊、即興曲等ノ各者ト密接ナル結合ヲ保ツ様考慮セシムル便宜ヲ與フルコト。

5、唱歌曲名原案

オカアサン

アカチヤン

オタンジヨウビ

オヤツ	オヤスミナサイ	ユメ
オウシヤサマ	オニゴツコ	カケツコ
ナワトビ	オマ、ゴト	オスナアソビ
ブランコ	ギツコンバツタン	ツミキ
オシヤウグワツ	マメマキ	オヒナサマ
コヒノボリ	ウサギ	テフテフ
オウマ	ヒヨコ	アサガホ
タンポポ	チューリップ	ジドウシヤ
オツキサマ	カミナリサマ	ナミ
ユキダルマ	スゴク	大キクナツタラ
オマツリ	スベリダイ	マリナゲ
エンソク	ミヅアソビ	オサル
オミヤゲ		

(作歌作曲の都合で、原案通りならなかつたのもございます)